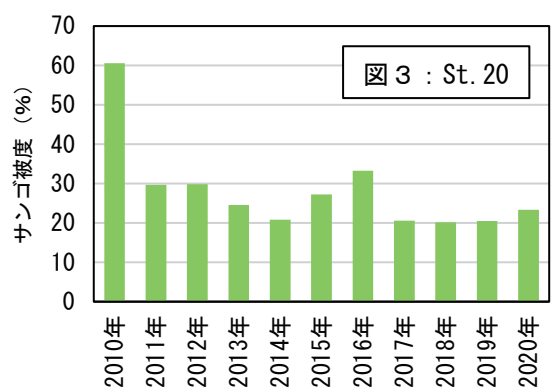
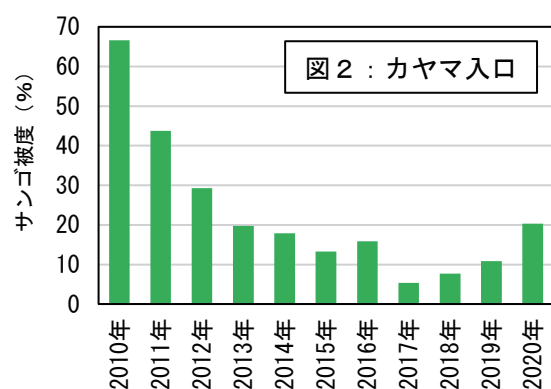
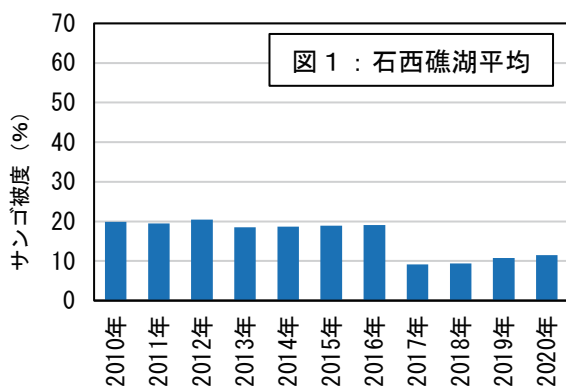


石西 自然再生 礁湖

石西礁湖はいま

シリーズ 27

▲群生するミドリイシ類 カヤマ入口 (2020年9月撮影)



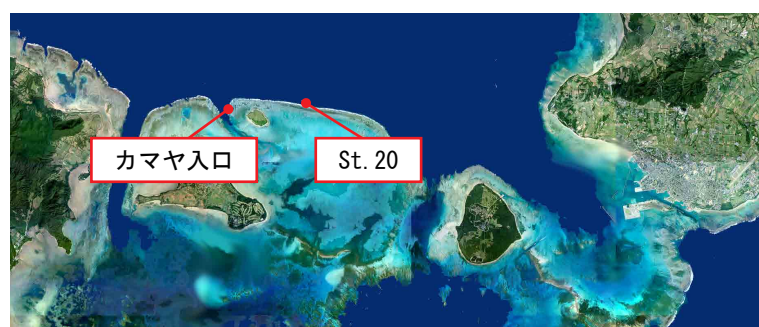
サンゴ被度の経年変化

環境省は、コドラート(1m×1mの正方形の調査枠)を1地点あたり30個並べ、その枠で囲まれたサンゴ礁の様子を記録するモニタリング調査を全31地点で実施しています。その10以上ある記録項目のひとつが「サンゴ被度」です。石西礁湖に限らず、世界中でサンゴ礁の現状をよく知るために、最もよく用いられるデータです。

石西礁湖の平均被度は、2016年の大規模白化によって、過去最低の9.2%を記録しましたが、その後、生き残ったサンゴや新しく生まれたサンゴが成長してきていることで、少しずつではあるものの増加傾向にあり、2020年には11.5%まで回復しました(図1)。

北礁に位置するカヤマ入口では、2014年に加入したミドリイシが成長しています(上部写真)。大規模白化後5.4%まで落ち込んだ被度は、2020年には20.3%まで増加していました(図2)。また、同じく北礁に位置するSt. 20では、他の地点に比べて大規模白化の被害が少なく被度20%前後が生き残りましたが、病気や斃死が多く、2020年には23.3%とわずかな増加に留まりました(図3)。

このように回復が見られた地点もありましたが、まだまだ回復が見られない地点も多く、全体としては依然厳しい状況には変わりありません。今後も引き続き調査を実施し、状況を把握して、対策につなげていく必要があります。



石西礁湖北礁側の地図と地点の位置

2020年の石西礁湖

石西礁湖自然再生協議会は第8期に入りました！

「第27回石西礁湖自然再生協議会」が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年のような集合形式ではなく書面にて開催されました。新たに5名が加わり、協議会委員は129団体・個人（個人46名、団体・法人46機関、地方公共団体28機関、国9機関）となりました。

第8期のスタートにあたり、会長と副会長の選任が行われ、第7期に引き続き協議会会長には土屋委員が、副会長には吉田委員が再任されました。お二人から再任のご挨拶を頂きました。

土屋 誠 会長 (琉球大学名誉教授)

皆様、大変困難な時期をお過ごしのことと思います。そのような中、先般開催しました書面会議では、多くの建設的な意見を寄せていただきました。有難うございました。

最近、UNEP が「世界のサンゴ礁が消滅の危機にある」との報告を出しました。サンゴ礁の再生活動は地域のみならず、世界の友人たちとも連携したものでありたいものです。私たちの活動が益々重要なものになっていることを認識しつつ、邁進して参ります。

吉田 稔 副会長 (八重山サンゴ礁保全協議会)

この度、石西礁湖自然再生協議会の副会長に再任させていただきました吉田稔です。サンゴ礁での取り組みは、成果が判りにくいですが今後とも皆さんとともに最大の力を注いでいきますのでよろしくお願い致します。石西礁湖にとって健全な環境になるための物理的な要因は年々減少していますが、全国的にSDGsの取り組みなどが普及してきましたし、人の心や情報空間の面で健全な要因をどんどん増加させていきましょう。

＜活動テーマ＞

○沿岸域の底質に蓄積した汚染物質が稚サンゴに及ぼす影響



ひとこと

石西礁湖を守るべく活動を行いたいです。

安元 剛 委員（北里大学）

新規委員の紹介

＜活動テーマ＞

○サンゴの白化現象メカニズム究明と大規模白化に対する生物化学的防止・救済策の確立

- ・サンゴへの給餌
- ・抗酸化能力の向上
- ・エネルギーの蓄積
- ・白化に強い、白化しても長期間生存できる技術開発



ひとこと

石西礁湖をすこしでも長い間維持することが出来るように尽力したいです。

藤村 弘行 委員（琉球大学）

＜活動テーマ＞

○陸と海との相互作用に関する研究とESD（持続可能な開発のための教育への取り組み）



ひとこと

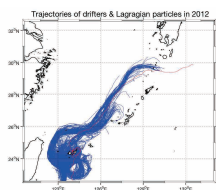
協議会を通じて、サンゴ礁生態系の保全に少しでも貢献したいです。

安元 純 委員（琉球大学）

＜活動テーマ＞

○サンゴ礁再生と生息域北進支援のためのサンゴ卵重要供給源特定

・数値モデルによる粒子追跡と漂流ブイ観測



図：石西礁湖を発した数値モデルによる表層粒子（青）と漂着ブイ（赤）

ひとこと

石西礁湖の生態系保全に少しでも関わればと思います。

鹿島 基彦 委員（神戸学院大学）

＜活動テーマ＞

○日本全国みんなで作るサンゴマップ

- ・空間解像度 1km のサンゴ白化推定モデル
- ・遮光による白化軽減効果の見積もり



ひとこと

現地のより詳細な情報を共有し、モデルのアップデートを通じて成果を還元したいです。

鹿熊 直樹 委員（国立環境研究所）

編集
発行

石西礁湖自然再生協議会運営事務局



環境省 沖縄奄美自然環境事務所



内閣府 沖縄総合事務局開発建設部港湾空港技術対策官

【住 所】〒907-0011 沖縄県石垣市八島町2-27 環境省石垣自然保護官事務所内

【電 話】0980-82-4768 【FAX】0980-82-0279

【石西礁湖ポータルウェブサイト】<http://sekiseisyouko.com>